

ゴールデンウィークが明けましたね。新型コロナウイルス感染症の不安が色濃い連休となっていました。皆さんはどのように過ごしたでしょうか。リフレッシュできたでしょうか。

新学期が始まって、1ヶ月が経ちました。緊張がほどけて疲れの出る頃です。そして、5月病と言われるように、心もなんとなく「だるい・めんどろ・おっくろ」になりがちです。3年生は、いよいよ待ちに待った中学校最大イベントの10泊11日の修学旅行も控えています。心も体も調整をしていきましょう。



健康診断が始まっています！



4月からスタートした健康診断ですが、終了した健診から、結果をお知らせをしています。7日現在、視力検査結果、尿検査、眼科の結果を渡しています。(すべて要受診者のみ)5月は、歯科、内科、耳鼻科の結果を配付する予定です。(延期している心電図検査、尿検査2次の結果の配付日は未定です。)

特に、眼科・耳鼻科健診で、「要受診」と通知した人は、専門診療期間中(眼科・耳鼻科の診療所の専門診療日が限られています)に、必ず受診をお願いいたします。混雑が予想されますので、早めの受診をお願いします。病院受診後は学校に「治療証明書(結果のお知らせ)」を提出してください。

5月保健行事

- 10日(火) 食育講話
- 17日(火) 内科健診(PM)
- 19日(木) AED 講習(生徒)、お弁当の日
- 24日(火) 耳鼻科健診(AM)



5月の補食内容

- 11日(水) ヨーグルト
- 18日(水) ヨーグルト飲料

眼科健診欠席者の対応について

4月28日に実施した眼科健診を欠席した生徒は、村の学校の欠席人数が多かったことから、今回の眼科専門診療ではなく、秋の専門診療にて健診を受けていただくことになりました。

日程など詳細が決まり次第、お知らせします。ご理解とご協力をお願いいたします。

~5月の保健目標~

病気を早期治療し、
健康な体を作ろう！

マスクを正しく使おう！

マスクは、布やウレタンよりも、不織布の方が効果が高いことが示されています。すき間のないよう顔にフィットさせ、正しく使用することが大切です。

マスク着用の主な目的は、会話や咳による飛沫の飛散や吸い込みを防ぐことです。飛沫を出す側と吸い込む側、両者の距離感やマスクの着用状況、マスクの素材(性能)によっても、防御効果に大きな違いが生まれることが、近年の研究で示されています。

また、布マスクやウレタンマスクは、繰り返し使える分正しく消毒ができていないと、逆効果になってしまうこともあります。

感染拡大を防ぐために、手洗い・うがいや三密を避けるとともに、マスクの正しい着用を徹底しましょう。



① 鼻の形に合わせてすき間をふさぐ

② あご下まで伸ばし顔にすき間なくフィットさせる

会話時は必ず着用！

- ・鼻出しマスク× あごマスク×
- ・着けたら外側は触らない
- ・ひもを持って着脱
- ・品質の確かな、できれば不織布を



マスクによる感染予防について

マスク装着時の実効性能について

- ・マスク装着時の通気性能（実際にマスクを装着した際の性能）とマスク捕集性能（実際にマスクを装着した際の性能）の関係

